

【問い合わせ先】

第八管区海上保安本部

広報地域連携室

奥野哲也・今出高廣

0773-76-4100（内線2111・2117）



平成 2 8 年 8 月 3 日

第八管区海上保安本部

自律型海洋観測装置による海洋観測を開始します

～クリーンエネルギーでエコな長期観測を実現～

第八管区海上保安本部は、9月7日から「自律型海洋観測装置（AOV）」による海洋観測を、日本海においては、国内の機関として初めて実施します。

日本海は、安全かつ効率的な航海のための海洋観測データが不足していますが、AOVを使用することで、海潮流、波浪、風向・風速等のリアルタイムデータの提供が期待できます。

隠岐諸島近海でAOVによる観測を開始し、海洋観測データは第八管区海上保安本部のホームページで10月から公開予定です。

1. AOV (Autonomous Ocean Vehicle) と海洋観測

AOV は、決められた海域を無人で海洋観測する装置です。波の上下動を動力として移動し、観測機器や通信のための電力は自身の太陽光発電を利用するため、クリーンエネルギーでエコな観測装置と言えます。

日本海の海洋観測データは恒常的に不足している状態にありますが、AOV による海洋観測を実施することで、安全かつ効率的な船舶の運航、漁業、マリンレジャーなどに必要な海洋観測データを充実させることができます。

2. AOV の観測項目

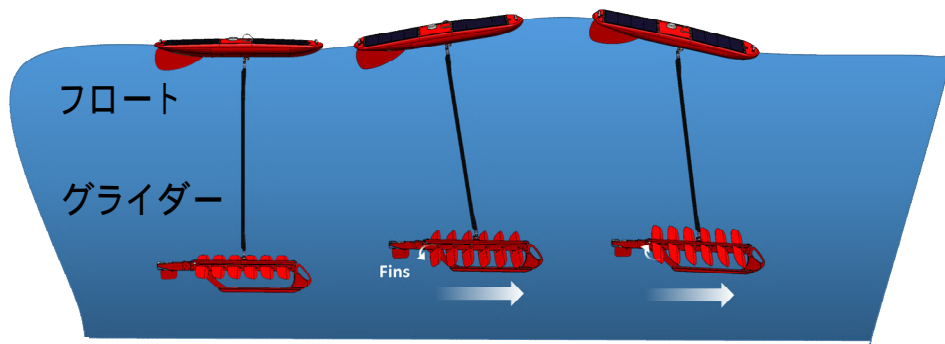
海潮流、波浪、風向・風速、水温、塩分、気圧、潮位

3. AOV (Autonomous Ocean Vehicle) の概観

- ・ フロート寸法
約 300cm × 80cm × 20cm
- ・ グライダー寸法
約 210cm × 140cm × 20cm
- ・ 平均移動速度
約 1.3 ノット (約 2.4km/h)



観測中の AOV (海面上)



AOV が波を利用して進むイメージ

4. 観測海域図

